ふくし"きらり人。"

題字：竹下 由惟

今回のふくし"きらり人。"

竹下由惟さん　小野大希さん　益子慎司さん

特別養護老人ホーム　成華園（日立市）

今回のふくし"きらり人。"は介護の現場からお届けします！

益子さんは管理栄養士として、竹下さんと小野さんは介護職として、日々、利用者の方と向き合っています。

３人の中で最も成華園での勤務が長い小野さんは、「大学を卒業して働き始めた時は、勤務に慣れる事に必死だった」振り返ります。今年採用された竹下さんも勤務に慣れる事に必死だと言います。

しかし、誰もが過酷なイメージを持つ介護の仕事ですが、３人からは、その辛さは微塵も感じません。むしろ、楽しんでいるようにも感じます。

益子さんは、成華園で働く前から福祉施設に関わりのある仕事をしていました。

そこで出会った利用者との出会いから「もっと寄り添える仕事がしたい」と、施設職員として勤務を始めました。

益子「ここでの勤務を苦に思ったことはないですね。仕事自体を楽しんでますから」

話を聞き進めると、その気持ちは３人とも共通しています。

小野さんが介護の道に進んだのは施設見学で成華園に来たことがきっかけでした。

小野「両親から介護職が向いているとの勧めもあり、施設見学で介護の３Ｋのイメージを取り払えたというのが大きかったです」

竹下さんは、大学で心理福祉を専攻した後、初任者研修の実習で訪れた成華園での経験から、「ここで働きたい」と決めたそうです。

竹下「利用者との交流は楽しいですね。おばあちゃん（利用者）から、笑顔がいいねと言われています。利用者の方が大好きなので、笑顔になっちゃいます」

それぞれの立場で感じる福祉の現場、福祉への思いを語ってもらいました。

利用者との時間を大切にすること

益子「わたしの仕事は厨房管理や食事を作っているだけではなく、利用者の声に耳を傾け、現場をみるようにしています」
小野「利用者との時間を大切にするようにしています。かつて食堂を経営していた利用者の方と餃子を作ったりしたこともあります」
益子「利用者の方や職員が餃子を作っていると、周りの人も興味を持ち始めて、とてもいい雰囲気でした」
竹下「わたしは利用者の方が大好きなんです。だから、常に笑顔で接するし、利用者の方との時間を楽しく過ごしています」
小野「仕事と思うとどうしても感情が顔に出ると思います。そうすると利用者の方が欲求を言いづらい雰囲気を作ってしまうので、仕事と思わず楽しむようにしています」

福祉の仕事はチームワーク

益子「利用者の方がご飯を食べる量が減ってきたので、どうにかしてください！とか、介護職の方からの要求は急だったりするんですけど」
小野「それは、益子さんを頼りにしているからですよ」
益子「急な要求であっても、職種の垣根を越えて相談してきてくることは嬉しいです」
竹下「利用者の方の生活を成り立たせるためにはいろいろな知識が必要で、益子さんだけでなく看護・栄養の方の力を借りながら仕事をしています」
益子「福祉の仕事はそういうチームワークが大事ですね。チームワークが作れる人なら、福祉の仕事に向いていると思います」
小野「抱え込まないで人を頼ったり、情報の共有ができたりする人ならできると思います」
益子「現場に近い介護職の要望は叶えてあげたいけれど、介護・看護・栄養の３職種が納得したうえで利用者に対応することが大事で、この仕事で大変な部分だと思います」

やっぱり人が好き！

小野「１日中立って仕事をしていることが多いので、身体を動かすことが好きな人がいいと思います」
益子「介護の現場に向いているのは、人が好きなことは重要かなと思います。小野さんや竹下さんを見ていると、本当に人が好きなんだなと感じます。」
竹下「利用者の方からは笑顔で話しかけてくれるから、いろいろ話しやすいと言われるから、そういう職員でありたいと思って仕事をしています」
小野「介護イメージはいろいろあると思いますが、わたしは実際に施設を見学してイメージが変わりました。ぜひ施設を見に来てほしいです」
益子「実際に施設を見てほしいですね。学生さんは実習で１週間ほどいるだけでイメージが変わったと、口を揃えて言います」

★★★ふくし”きらり人。”募集中！　ホームページで確認！★★★